

OTS オーティーエス創立 40 年 記念号

The OpenTalkS Nov.2025
Vol.189

皆様のおかげをもちまして、2025 年 10 月に OTS は創立 40 年目を迎えました。

1986 年の創業以来、私たちは「物流を通じて社会に貢献する」という理念のもと、お客様とともに歩みを続けてまいりました。時代の変化に合わせて、物流のあり方も大きく変化しましたが、OTS は常に現場力と柔軟な対応力を強みとして、撮影・採寸・ラッピングをはじめとする EC 関連業務やリユース事業など、時代に合ったサービスを拡充してきました。

今回は先月 25 日に開催された事業計画発表会の様子と、そこで新たに発表された OTS の行動指針、そして毎年発行しているサステナビリティレポートについて特集いたします。

■ 事業計画発表

毎年、全社員が参加する事業計画発表会。今年は創業 40 年という節目の年を迎え、会長・社長の講話も OTS の歩みを改めて振り返る内容となりました。



会社にとって順調だった時期もあれば、困難を乗り越えた時期もあり、また大きな出来事やそこから得た学びなど、普段は聞くことのできない OTS の歴史を、創業者である田中会長と現社長の田中社長から直接伺う貴重な機会となりました。

■ 行動指針の発表

詳細は右頁にて特集いたしますが、本会中に OTS の行動指針【OTSway】が発表されました。

2024 年 12 月に策定のためのプロジェクトが発足し、各センターから選りすぐられた 65 名のメンバーによって策定され、この日に全社員に初めてお披露目となりました。

■ 従業員懇親会

今年は多くのパート社員（パディさん）も参加し、総勢 297 人のパーティーとなりました。

永年勤続表彰では勤続 10 年以上の方が表彰されました。総勢 75 名の方が対象となり、OTS の歴史の長さと、長く働くことのできる会社であることを改めて感じました。

■ 委員会活動報告

OTS は 5 つの委員会（5S・CS・人時・広報・親睦）が存在します。全社員がいずれかの委員会に所属し、年間を通じて活動していますが、事業計画発表会時に、センターごとに活動報告をしています。

動画あり、紙芝居ありとそれぞれ工夫を凝らした発表で盛り上がりました。



(10 年 53 名、15 年 8 名、20 年 6 名、25 年 3 名、30 年 3 名、35 年 2 名)

■ 行動指針【OTSway】の策定

OTS は節目となる 40 期を迎えるにあたり、行動指針を策定いたしました。企業が永続的に成長していくためには社員一人ひとりが共通の価値観を持ち、同じ方向を向いて行動することが欠かせません。行動指針は、経営理念や OTS のビジョン・ミッションを具体的な行動に落とし込み、「どう判断し、どう行動するか」の基準を示す重要な役割を果たしてくれると確信しています。

私達はそれを【OTSway】と名づけ、全社を上げて 8 つの指針を作り上げました。

■ 行動指針【OTSway】

- 応える力とやりきる姿勢
- +1（プラスワン）の提案
- 頼れるおせっかい
- 良い仕事は良い休みから！
- 「ありがとう」が響きあい笑顔があふれる職場
- マジメに仕事を楽しむ
- 学びながら進化し変化に順応する
- すべてをつなぐ

この指針は、業務の中で迷ったときの個々人の判断基準となり、さらに全体のチームワークを高めることも目的としています。また、社員が自らの成長を実感し、仕事に誇りを持ちながら安心して働ける職場づくりにもつながることを期待しています。

その一方で、こうした考え方を社内に浸透させるには時間がかかることも理解しています。社員が常に「OTSway」を身近に感じ、心に留めておけるよう、社内の目につくところに掲示したり、卓上カレンダーとして印刷し、社員に配るといったことも計画しています。

OTS のより良い物流サービスを継続して提供できるよう、今後も社員一人ひとりが一層努力してまいります！

■ サステナビリティレポート 2025 年版 鋭意制作中

毎年発行しているサステナビリティレポート。本レポートは、当社が取り組む ESG および SDGs 活動を広くお伝えし、社会との対話を深めるために制作しています。

11 月中の発行を目指し、広報委員が主体となって制作しており、現在は印刷前の最終段階に入っています。

カイテン倉庫サービスのパートナー企業であるエコランド様、リサイクルリンク様との三社対談から始まり、GOTS 認証を取得したテキスタイルプリントセンターである和光センター特集、そしてどの企業様でも問題となる人の定着の問題にフォーカスした、雇用創出と働きやすい職場づくり特集など、OTS だけでなく社会全体が永続的に発展していくために、私達が行っている活動をまとめています。

